

## 1 教育目標

### (1) 本校の教育目標

校訓（至誠・自律・敬愛）の精神を大切にし、

【至 誠】	誠意をもって人に接し、事に取り組める生徒	を育成する
【自 律】	目標・計画をもって、粘り強く実行できる生徒	
【敬 愛】	長所を認め合い、感謝・感動ができる生徒	

### (2) 経営方針

#### ア 確かな学力の育成をめざして

主体的・対話的で深い学びの視点に立ち、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けさせる。あわせて、対話や協働を重視した授業づくりを進める。さらに、生徒が自ら課題を見だし、情報を収集・整理し、考察・表現する力を育むために、探究的な学習を充実させる。そのために、話し合い活動の質を高めるとともに、ICTを効果的に活用した学習活動を計画的に推進する。

#### イ 豊かな心の育成をめざして

道徳の時間を要に、教育活動全体を通して、校訓の「至誠・自律・敬愛」の精神を具現化する。それにより、周りの人を大切にし、感動する心、自らを律しつつ他を認める心など、豊かな人間性を養う。

#### ウ 健やかなからだの育成をめざして

体育の授業やさまざまな運動を通して体を動かすことの楽しさを体得させ、心と体を鍛える。また、日頃の健康観察や保健指導を通して、健康・体力への関心を高め、望ましい生活習慣の定着を図る。

#### エ 信頼される学校づくりをめざして

地域学校協働活動を進めながら、地域・保護者から敬愛される教師をめざし、指導力向上を図るとともに、家庭・地域や小学校との連携を深め、信頼と協調で結ばれる開かれた学校づくりをめざす。また学校運営協議会、学校評価、アンケートなどを通しての家庭・地域の声を教育活動に生かすとともに、学校ホームページ、各種たより、学校公開などにより積極的な情報発信を行う。

### (3) 本年度の重点努力目標

#### ア 学力の向上

生徒の「情報活用能力」を高めることを重点とする。情報の収集・整理・比較・活用を計画的に設定し、ICTを含む多様な情報を適切に扱う力を育成することで、学んだことを多様な場面で「活用する力」へとつなげる。これらの力を、課題の設定・情報の分析・考察・表現へとつながる探究的な学習の基盤として位置付ける。

また、3年間を見通した学習ルール（大南スタンダード）を基盤に、ノート指導の充実、タブレット端末の効果的な活用、QUの分析を生かした学級づくりを進める。さらに、グループ学習やペアワークを工夫し、生徒一人一人に応じたきめ細やかな学習指導を行うことで、学力の向上を図る。

#### イ 心にせまる生徒指導

基本的な生活習慣、中でも「あいさつ・時間を守る・清掃」を徹底させ、規範意識を高め、他を思いやり、感謝する心を育てる。

#### ウ 地域に密着した学校行事の推進

一小一中、小規模校の特性を生かし、地域との関わりを大切にしたい学校行事に取り組む。社会に開かれた教育課程を実践することで、自校や地元への誇りや愛着を深める。

（地元の講師によるお茶お花の会・和楽器授業・地域行事へのボランティア活動・小中ふれあいごみゼロ運動・小中連携引き渡し訓練など）

#### エ 安全・安心な学校づくり

校内の安全管理体制の充実を図る。交通安全、けがの予防、インフルエンザ等の感染症の感染防止対策、大規模災害時の対応など具体的な指導を通して、安全意識を高め、実践できる力を身につけさせる。（避難訓練・KYTの実践・熱中症予防講座・救命講習）

#### オ 今日の課題への対応

いじめ・不登校の早期発見・早期対応、教育相談活動、特別支援教育の充実などの研究に努める。また、教員の多忙化解消にかかる業務改善を進めると同時に、計画的に教員が休息できる環境をすすめる。計画年休等を取り入れることができるように努める。また部活動のあり方を見直し、これまで以上に地域と学校が協力し、地域全体で子どもたちのスポーツ・文化活動を支える地域展開を目指す。